58 カクメイ属の一種　（カクメイ科）　兵庫県ランク：A

Cornirostra sp.　環境省ランク：DD

種の概要

英虞湾、和歌浦で分布が知られる。ナギツボ、ガラスシタダミ科の一種（いずれも貝類Aランク）等とともに内湾の砂泥底潮間帯から潮下帯の還元環境に生息する。近年発見されたばかりの未記載種。殻径1.5mm。淡路島産は殻径3mm前後。殻はシタダミ型で、イシン属の種よりも螺層の膨らみと縫合のくびれが強い。薄質、白色半透明で殻表は弱い成長脈があるだけで平滑。臍孔は広く開く。軟体部は足の前端と後端は深く二分する。特に後ろは2本の触角状となる。また、細長い吻の先端も二分して触角状となる。1本の外套触角をもつ。イシン属の種と異なり、外套膜上に明瞭な黒色色素の斑紋をもつことで識別は容易である。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	○	○		○

県内分布

洲本市

県内における生息状況及びその他特記事項

新規追加種。淡路島中部の内湾最奥部にある船溜まりの一面海藻に被われた泥底で2010年に24個体、翌年は2個体が確認されたが、生息環境などの変化により、その後再発見されていない。泥底内部は黒く、硫化水素の臭気がする還元状態の特異的な環境である。5月初旬に得られた個体は殻径約2mmほどであるが、7月下旬では最大殻径3.2mmに成長しており、8月下旬の調査では生貝は得られず、死貝のみ確認された。また、7月に採取して持ち帰った個体を容器に入れていたところ、側面や水面上に渦巻き状に産卵しているのが観察された。

保護上の留意点

内湾奥部や入江、船溜まりなどの潮通しの悪い底床が還元状態の場所は、場所柄、埋め立てや浚渫されやすい。また、衛生的にも懸念されがちである。しかし、特に人工的に汚濁されていない限り、自然由来の還元環境は存続させるよう検討する。

【執筆者】　川渕千尋